

## 組織力強化コアスキル研修受講報告

桐 昭弘

### 1. はじめに

近年、技術職員への期待は、技術面のスキル向上だけでなく、職員間の連携やチーム力が求められている。しかしながら、そうした研修の機会はほとんどなく、また事務職員のチーム力とも異なる側面がある。本年度金沢大学にて開催された「チームで働くための基礎を身に着ける(技術職員コアスキル研修)」では、技術職員及び URA 向けに独自の研修プログラムを用意された。特に技術職員間の連携などチーム力として、役割の認識、人のマネジメント、仕事のマネジメントというフレームでの役割の認識、醸成を目的とし実施され、今回は北陸技術人材ネットワークがご縁となり、参加の機会を得ることができた。

### 2. 受講日程

日時 令和4年8月1日(月), 17日(水)  
 場所 金沢大学 角間キャンパス (金沢市角間町)  
 主催 金沢大学 研究基盤統括本部 人材育成部門  
 講師 産業能率大学 総合研究所 准教授 山田 弘道 先生

### 3. 受講内容

この度の受講講義の時間割を図1に示し、その講義内容について以下に述べる。

3.1 大学職員に求められる役割 社会の変化と組織運営、期待と役割の關係の講義の後に、受講者上司の期待項目(課題として講師より事前聴取)と参加者の把握度の確認のグループワーク、

### ～チームで働くための基礎を身につける～ 技術職員コアスキル研修

#### ねらい

職場とはどのようなものなのかを知り、自分自身の立場や役割を理解する。  
 組織人としての心構えや仕事を進めていくために必要なスキルを体験的に習得する。  
 ビジネスにおけるコミュニケーションの基礎と2つの側面(情報と感情)について理解し、  
 総合演習を通じて学習の総まとめを行う

#### プログラム

	時間	項目	備考		時間	項目	備考
1 日 目  8 月 1 日	9:00	1. オリエンテーション ・研修のねらいと進め方 ・自己紹介	グループワーク	2	9:00	5. 組織を動かすコミュニケーション ・コミュニケーションの基礎知識 ・コミュニケーションの進め方	理解促進 & レクチャー & 実習
		2. 大学職員に求められる役割 ・社会の変化と組織運営 ・期待と役割の關係 ・職員に必要な能力の全体像 ・組織人の基礎知識(相互討議)	理解促進 & レクチャー			6. 論理的に考える ・論理/論理的思考とは ・倫理的に考えるポイント	レクチャー & グループワーク
		3. 組織とは ・組織の持つ特徴 ・よいチームとは	レクチャー			7. ビジネス文書の基本 ・文書主義と表現力 ・わかりやすい文章とは	レクチャー & 個人ワーク
		4. 仕事の進め方 ・PDCAサイクルの運営	レクチャー & 実習			8. 総合演習 ・演習の進め方 ・演習の振り返りと改善	レクチャー & グループワーク
	17:00				17:00	9. まとめ・質疑応答	

図1 研修のプログラム

職員に必要な能力の全体像の講義、組織人の基礎知識として30問の設問に個別回答のちに受講者にて相互討議を行った。

**3.2 組織とは** 組織の持つ特徴、よいチームとは、集団規範、チームリーダーの立場と役割について講義にて学んだ。

**3.3 仕事の進め方 組織行動の特徴、PDCA サイクルの運営について**講義にて学んだ。また、演習として「金沢大学未来ビジョン」を基に組織目標や方針を読み解き各々の業務への落とし込みを行った。

**3.4 組織を動かすコミュニケーション** コミュニケーションの基礎知識、コミュニケーションの進め方、報告・連絡・相談のポイントについて講義にて学んだ。また演習としてDESCについて個別回答のちに受講者にて相互討議を行った。

**3.5 論理的に考える** 論理/論理的思考とは、ルール活用型思考（演繹法）、事例活用型思考（帰納法）、倫理的文章のポイントについて講義にて学んだ。

**3.6 ビジネス文書の基本** 文書主義と表現力、わかりやすい文章とはについて講義にて学んだ。

**3.7 総合演習** 演習として教材を用い「もみじ饅頭の梱包計画の策定（指示とルール）」を行った。

#### 4. まとめ

今回の受講にて、技術職員組織として組織力の強化すべきコアスキルが多岐にわたり存在することを認識することができた。大学技術職員、組織の一員としての求められる役割の理解、上司の期待とその把握、集団規範、リーダーの立場と役割、組織目標・方針の読み解きと業務への落とし込みの必要性、コミュニケーションの重要性、論理的な思考、文書主義と表現力などが考えられる。

今後、当技術部の組織力向上に向けての端緒となるようこの認識を生かしたいと考える。

本研修への参加にあたりご助言を頂戴しました、技術部長 小熊 規泰 先生に謝意を申し上げます。